

2023

夏
号

萬德院 釈迦寺

2023年7月1日 第96号

敬愛 けいあい

発行：萬德院 釈迦寺 千葉県船橋市高根町 2233-3

0120-646-100

最新のお知らせは：<https://www.syakaji.jp>



得難くして移りやすきは、それ人身なり。
発し難くして忘れやすきは、これ善心なり。

最澄伝教大師『願文』

いま健やかに暮らすことができ、元気にいのちを生かさせて

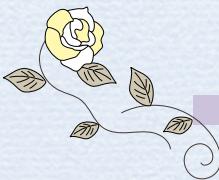
いただいているとの自覚・覚悟が持てるのなら、人として、善なる行いに努める必要があると、天台宗開祖・最澄伝教大師は申されました。善心は「道心」と言いかえられます。自らの向上をはかるとともに、他者の幸せに努める、すなわち仏道を求める菩提心をいいます。

各々が、力の及ぶ限りで、善心・道心に努めるならば、この世はもっと住みやすく、平和になるのでしょう。伝教大師は二十歳の若い頃に、このように願いを立て、一生涯にわたって片時も忘れることなく、その実践・実現に邁進されました。

宝とは道心なり。道心あるの人を、名づけて國宝となす。
一隅を照らす、これすなわち國宝なり。

『山家學生式』六條式





萬徳院釈迦寺の成り立ち

今月号から『敬愛』が4面構成となりました。皆さま方に少しでも有益な、仏教や仏事に関する記事を精選して掲載したいと考えています。

今回はまず、もうすでにご存じのお方も多いかと存じますが、改めて、釈迦寺というお寺の成り立ちについてお話ししたいと思います。

萬徳院釈迦寺(まんとくいん・しゃかじ)は、現在千葉県船橋市高根町、同市小室町、千葉市稻毛区の三カ所において納骨堂、靈園、合祀墓をそなえた寺院として運営しております。それぞれ船橋中央、小室寺院、稻毛寺院と略称されます。萬徳院釈迦寺は、もともと、琵琶湖を臨む、滋賀県大津市にある長等山圓城寺(ならがさん・おんじょうじ。通称、三井寺 みいでら)内の塔頭(たっちゅう)寺院・萬徳院に由来します。現在においても、その三井寺参道に面して関西本院としての釈迦寺があります。さらに、松戸市の八柱靈園近くに八柱別院を設け、お墓参りにあたっての年回忌法要の場として、皆さまにご利用いただいております。

萬徳院釈迦寺は、昭和29年4月天台宗寺門派より、単立(たんりつ)の宗教法人として独立し、その後、平成12年に千葉県船橋市小室町に寺院を移し、ステンドグラスを用いた現代的寺院として新たに復興されました。つづいて、平成22年に稻毛寺院、同23年に船橋中央が開設されました。

萬徳院釈迦寺は、元来は天台宗(てんだいしゅう)のお寺でしたが、現在は単立(たんりつ)の寺院として運営されています。それは、天台宗の教義、作法を基本としていますが、宗教や佛教宗派の一宗一派に属することなくと



も、各宗各派のお祖師さま、各ご家庭のご宗旨を大切にし、すべてのお方に門戸を開いた寺院であるという意味です。そして、ご葬儀やご法事にさいして、皆さま方のご依頼をお受けし、仏縁を結び、ご先祖さまに対する報恩感謝の念を深めていただけるよう願って運営されている寺院なのです。

天台宗の教義、作法を基本とする釈迦寺の僧侶は、阿弥陀さまのお念佛をお唱えいたしますとともに、法華経・般若心経をも読誦いたします。またご真言の心得もあり、護摩供など祈願の修法をも厳修いたします。

萬徳院釈迦寺の御本尊さまは、釈迦如来でございます。それに加えて、各寺院大本堂のステンドグラスには、私たちの暮らす娑婆世界の教主であるお釈迦さまを中心に、東方瑠璃光淨土の薬師如来、西方極樂淨土の阿弥陀如来、すべての仏さまの本源である大日如来、そして弁才天女尊さまのお姿を表わし、各ご家庭のお仏壇にも祀られる仏さまを一堂に会しています。また小室寺院は、各宗派のお祖師さまを祀った、切り絵8幅を祀っています。どうぞ、お参りいただけますようお勧めいたします。



行事案内(7月~10月)



8月16日(水)

盂蘭盆会・大施餓鬼法要 (お盆の合同法要)

船橋中央	10:00	14:00
小室寺院	10:00	12:00 14:00
稻毛寺院	10:00	12:00 14:00

お盆は、ご先祖様や、亡くなられた大切な方の祖靈をご自宅にお迎えして、ご家族の皆でご供養を行なう期間です。

釈迦寺の盂蘭盆会・大施餓鬼法要は、お盆期間の終わり、結願の日に皆様と共に塔婆を建立し、読経供養を行なう合同の大法要です。



お申込みいただいた故人様のご戒名またはご俗名をお塔婆に書き記し、読上げしてご供養いたします。お申し込み方法は同封の申込用紙をご覧くださいませ。

釈迦寺ではご自宅に伺ってのお盆法要もお受けしております。お電話にてお尋ねください。

9月23日(土)秋分の日

秋の彼岸会大法要 (お彼岸の合同法要)

詳細はお盆の後に掲示される寺内でのご案内、ホームページ、又は盂蘭盆会供養証に同封しますお彼岸申込用紙をご覧ください。



定例行事(7月~10月)



月例法要 (下記日程の日曜日、午前9時から開式)

小室寺院 7月16日／10月15日

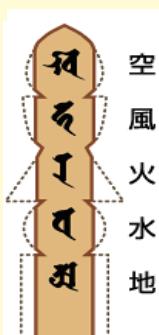
稻毛寺院 7月 9日／10月 8日

月例法要では、先祖代々や水子供養、月命日など年回忌のご法要でなくとも、月ごとのご供養を行っております。各寺院に直接お申込みください。一靈位5,000円

卒塔婆の話

卒塔婆(そとうば)、お釈迦さまの遺骨である仏舎利(ぶっしゃり)を納めた墳墓をいいます。お釈迦さまは般涅槃(はつねはん)し、荼毘にふされた後、貴きお骨を私たちに残してくださいました。お釈迦さまは、真如(しんによ)・法性(ほっしょう)を体現し、お悟りを開かれました。私たちは、仏塔に詣で、お釈迦さまがいらっしゃるかごとくにご供養を捧げます。日本では、五輪の形に刻まれた板柱のものをお墓に建立する伝統があります。それを、お釈迦さまの仏塔にちなんで、塔婆と呼んでいます。五輪の形は方形、円、三角、半円、宝珠となっており、それぞれ地水火風空

を意味します。この五つは、私たちが生きる、この現実世界を構成する存在要素を代表するものであるとともに、お釈迦さまが体現された法性・真如が、この世界に常に遍在していることを表わしているのです。仏さまの本質は、智慧と慈悲にあります。お塔婆は、ご先祖さまがいま、お淨土にあって、親しく仏さまのご教導を受け、ご修行が進みますことを祈念するとともに、ご先祖さまがいまも私たちの近くにあって温かく見守りくださり、これからも、しっかりとより善く生きることを仏さま、ご先祖さまにお誓いすることを意味して、追善供養として建てられるのです。



空
風
火
水
地

お知らせ

稻毛寺院

新納骨堂「天華」^{てんげ}が完成しました

稻毛寺院では納骨堂の空きがなく、大変多くの方にお待ちいただいておりましたが、1階に新納骨堂「天華」が完成し、7月からご利用いただけることとなりました。ご浄土では天女が美しい華をふらせていると経典にありますが、正にそのようなイメージで床には花びらの模様をあしらい、納骨堂の扉も今までのものとは違う新しいデザインになっております。

新納骨堂は一名様用、二名様用、四名様用をご用意しております。見学にはご予約が必要となっておりますので、稻毛寺院までお問い合わせくださいますよう、お願い申し上げます。



6名様用も2階の阿弥陀堂に増設しておりますので、併せてご利用ください。

問い合わせ先

稻毛寺院 ☎ 0120-787-800

稻毛寺院

特別合祀のご芳名板が新設されました



稻毛寺院の特別合祀は、10年間稻毛寺院にてご遺骨をお預かりし、その後は釈迦寺船橋中央の合祀墓にお移したうえで永代供養を行ないます。お参りは稻毛寺院の2階にあります「朱雀堂」にて行っておりましたが、その「朱雀堂」に特別合祀ご入堂の方々のお名前を掲げるご芳名板が新設されました。これまでにご入堂いただいている諸靈位のご芳名も掲載する予定です。なお、船橋中央の合祀墓にお移しした後も、引き続い「朱雀堂」にてお参りできますのでご安心ください。



小室寺院

1名様用の納骨壇の空きがございます



小室寺院では長い間、納骨堂の空きがございませんでしたが、一名様用に限り若干の空きができました。

ご利用を希望される方は、小室寺院までお問い合わせください。

問い合わせ先

小室寺院 ☎ 0120-445-380

❖ 納骨堂

13,200円~(年間)

❖ 合祀墓

7,700円~(1度のみ)

❖ 自由にデザインできる 外墓地もございます

丁寧なご供養で、
愛するペットちゃんとの
お別れをお手伝いいたします。

動物たちのやすらぎの杜

エンジェルペット霊園



〒274-0817
船橋市高根町2242
(釈迦寺霊園となり)

<https://www.angelpet.jp> ☎ 0120-011-200 (受付時間 9:00~17:00)